

精魂込めて

新年度が始まり、慌ただしさの中にも、少しずつ学校生活のリズムが生まれ、早くも二度目の週末を迎えようとしています。今度の日曜日は参観日となり、教室で過ごす生徒たちの姿をご覧いただけることを、私たち教職員も楽しみにしています。

新しい学年、新しい環境、新しい人間関係の中で、生徒たちは不安や期待を胸に抱えながら、毎日学校に通っています。朝、校門をくぐるときの少し緊張した表情、友だちの声にほっとしたように見せる笑顔、下校時の姿。その一つ一つから、生徒たちなりの精いっぱい「がんばり」を日々感じています。ご家庭では、学校での出来事についてどのようなお話ができているのでしょうか。楽しかった話もあれば、言葉にしにくい思いを抱えていることもあるかもしれません。どんな気持ちも大切な成長の一步として、学校でも丁寧に受け止めていきたいと考えています。

今年度は登校時間の見直しにより、ご家庭の朝の過ごし方にも変化があったことと思います。家族が先に出たあと一人で登校する生徒、時間を調整して見送ってくださっている保護者の方など、それぞれのご家庭の工夫とご配慮に、心より感謝しています。毎日の登校の裏側にあるご家庭の思いを、私たちは大切にしています。

生徒たちは交通量の多い道路を通して登下校しています。学校でも、地域の交通安全協会の皆様のお力をお借りしながら見守りや安全指導を行っていますが、何より大切なのは、生徒自身が自分の命を大切にすることです。ご家庭でも「ゆっくりでいいよ」「気をつけてね」といった言葉を、引き続き掛けていただければと思います。

自転車利用時には、スピードを出しすぎないことを特に伝えています。ヘルメットの着用が定着している姿はうれしい光景ですが、雨の日は路面が滑りやすく、転倒の危険も高まります。安全な場所を選び、落ち着いて行動することを心掛けてほしいと思います。生徒たちが一日を終え、元気に「ただいま」と帰ってくるのが、学校とご家庭共通の願いです。

これから参観日、家庭訪問期間と続きます。また、部活動保護者会も予定されています。授業とはまた違う場面で、仲間とともに挑戦し、成長していく生徒たちの姿も、あたたかく見守っていただければ幸いです。生徒たちを真ん中に、保護者の皆様と教職員が同じ思いで手を取り合い、一人一人の「今」を大切にしながら、これからの学校生活をともに支えていければと願っています。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。